情報技術者キャリアデザイン入門第11回

掛下 哲郎 理工学部·情報部門 kake@is.saga-u.ac.jp

第11回の内容

- 社会における高度IT人材の必要性
- 情報処理技術者試験
- IT人材のためのスキル標準
 - ITスキル標準(ITSS)
 - 組み込みスキル標準(ETSS)
 - □ 情報システムユーザースキル標準(UISS)
 - □ 共通キャリア・スキルフレームワーク
 - ITSS+(プラス)
 - □ iコンピテンシディクショナリ(iCD)

高度IT人材育成に関する各種の提言

- 産業構造審議会、情報サービス・ソフトウェア産業維新ー魅力ある情報サービス・ソフトウェア産業の実現に向けて、2006
- 産業構造審議会人材育成WG、高度IT人材の育成をめざして、2007
- 日本経団連、高度情報通信人材育成の加速化に向けて ーナショナルセンター構想の提 案一、2007
- IT戦略本部, i-Japan戦略2015, 2009年7月
- 総務省, 原ロビジョンII, 2010年5月
- IT戦略本部,新たな情報通信技術戦略,2010年5月
- 情報処理学会、教育ビジョン2011「誰もが情報技術に主体的に向き合う社会の実現をめざして」、2011
- 産業構造審議会人材育成WG、次世代高度IT人材像、情報セキュリティ人材、今後の階層別の人材育成、2012
- 閣議決定, 世界最先端 IT 国家創造宣言, 2013年6月. (毎年6月改訂)
- 科学技術基本計画(第5期), 2016年1月.
- 未来投資戦略2018(案), 2017年6月

Society 5.0

Society 5.0で実現する社会

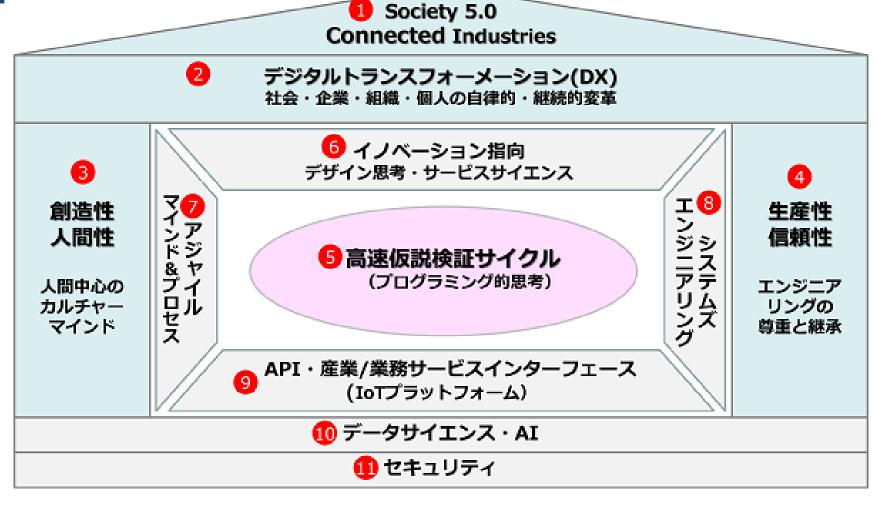
出典:

http://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html



デジタルトランスフォーメーションに向けたスキル変革の

方向性



情報システム・ソフトウェアの欠陥・不具合による重大事故・事象の例

証券取引所における株式等売買システムの不具合(2005年 日本)

証券取引所の取消し処理に係るシステムの不具合により、証券会社の誤発注の取消しが反映されず、 新規上場銘柄の取引が制限値幅の下限価格で大量に成立した。

軍用ハイテク航空機の墜落(2000年 米国)

米海兵隊の垂直離着陸機の油圧システム障害時のフライトコントロールシステムの不具合により、それぞれの回転翼が異なる動作をおこし、コントロールを失い墜落した。

放射線治療機による基準を超える放射線照射(1986年 米国)

• 放射線治療機の制御コンピュータ入力ミスの取消し処理に係るソフトウェアの欠陥により、患者が致死量を超える放射線を浴び、5か月後に死亡した。

ファーストサーバ障害(2012年 日本)

• 脆弱性対策の更新プログラムの不具合により商用レンタルサーバが障害を起こし、ウェブサイトやメールに加え、顧客情報や営業記録など多種多様なデータが失われた。被害にあった顧客件数は5698件で、ほとんどが復旧不可能。

情報システムには責任が伴う。

情報システムを扱う人材が責任を果たすには、しつかりした教育・訓練が必要。

情報処理技術者試験

出典:IPA資料(一部改)

情報処理技術者試験とは

「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」の水準がある程度以上であることを認定している国家試験

情報処理技術者試験の目的

- (1) 情報処理技術者に目標を示し、刺激を与えることによって、その技術の向上 に資すること。
- (2) 情報処理技術者として備えるべき能力についての水準を示すことにより、学校教育、職業教育、企業内教育等における教育の水準の確保に資すること。
- (3) 情報技術を利用する企業、官庁などが情報処理技術者の採用を行う際に役立つよう客観的な評価の尺度を提供し、これを通じて情報処理技術者の社会的地位の確立を図ること。

スキル標準と情報処理技術者試験

ITSS, ETSS, UISS

レベルイメージ

レベルフ 国内のハイエンドプレイヤーかつ 世界で通用するプレーヤー スーパー 高度IT ハイ レベル6 国内のハイエンドプレイヤー 企業内のハイエンド レベル5 人材 プレイヤー ハイ レベル4 高度な知識・技能 レベル3 応用的知識•技能 ミドル 基本的知識,技能 レベル2 エントリ 最低限求められる基礎知識 レベル1

評価方法

成果(実績) ベース → 業務経験 や面談等

> 試験+ 業務経験

スキル (能一 → 試験 合 否 情報処理学 会·認定情報 技術者制度

高度試験

応用情報技 術者試験

基本情報技 術者試験

ITパスポート 試験 情報処理 技術者試験

出典:高度IT 人材の育成をめざして(産業構造審議会) 一部追記

ITスキル標準(ITSS)

- 公開時期:2002年12月(最新版は2012年3月公表)
- ・実施主体:IPA/ITスキル標準センター
 - □情報サービス産業に従事する人材の職務と責任を定め、職務遂行 に必要な能力を明示
 - □情報サービスの提供に必要な実務能力を明確化、体系化した指標
 - □ 人材の職種とレベルに関する共通の認知
- 経済産業省が各種IT関連サービスの提供に必要な能力を明確 化・体系化した指標
 - 産学におけるITサービス・プロフェッショナルの教育・訓練等に有用 な共通の枠組を提供

ITスキル標準

キャリアフレームワーク

出典:ITスキル標準V3 2011(IPA)

職種を11に分類し、さらに35の専門分野に細分化。

職種	マーケティン			4	セール	·ス	コンサン	ナルタ	IΤ7	アーキ ラ	テクト		プロシマネシ	ジェクト ジメント			п	「スペシ	ノヤリフ	スト		アプリ ショ スペシ ス	ンヤリ	ソ ^フ デベ	フトウュ ロップ	ェア メント	カスク	タマサ・	ービス		ITサ- マネシ	ービス ジメント		エデ	ュケーョン
専門分野	マーケティングマネジメント	販売チャネル戦略	マーケットコミュニケーション	訪問型コンサルティングセールス	訪問型製品セールス	メディア利用型セールス	インダストリ	ビジネスファンクション	アプリケーションアーキテクチャ	インテグレーションアーキテクチャ	インフラストラクチャアーキテクチャ	システム開発	ITアウトソーシング	ネットワークサービス	ソフトウェア製品開発	プラットフォーム	ネットワーク	データベース	アプリケーション共通基盤	システム管理	セキュリティ	業務システム	業務パッケージ	基本ソフト	ミドルソフト	応用ソフト	ハードウェア	ソフトウェア	ファシリティマネジメント	運用管理	システム管理	オペレーション	サービスデスク	研修企画	インストラクション
レベル7																																			
レベル6																																			
レベル5																																			
レベル4																																			
レベル3																																			
レベル2																																			
レベル1																																			

レベルと評価の概念

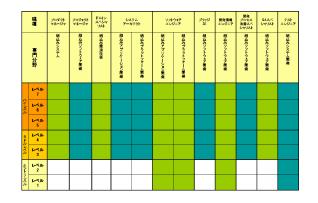
出典:ITスキル標準V3 2011(IPA)

	レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7						
		業務上	の課題の発	ビジネス、テクノロジ、メソドロジを リードする(創出)										
		指導の「	下に実施	業務を実施	業務範囲(プロジェ クト)内をリード	社内に貢献	業界に貢献	業界をリード						
	西値創造													
	への貢献				市場で認知される									
					社内で認知される									
		指導できる												
					独力で全てできる									
	要求作業 の達成													
		指導の下で できる												
評	価範囲				業界の成員としての成果									
		組織の成員としての成果												
評価対象 個人としての成果														

その他のスキル標準

出典:IPA資料(一部改)

組込みスキル標準(ETSS)

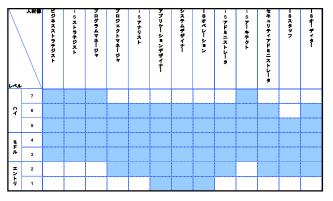


公開時期:2005年5月

実施主体: IPA/ソフトウェア・エンジニアリング・センター

- ▶ 製造業における組み込みソフトウェア開発力強化のために「人材」の育成や、「有効活用」のための指針
- ▶ 組み込みソフトウェア開発技術者の産業横断的に使用できる「スキル標準」を調査・抽出して体系化

情報システムユーザ スキル標準(UISS)



公開時期:2006年6月

実施主体:経済産業省、JUAS

- ▶ ユーザー企業の情報システム機能を洗い出し、 必要となるスキル及び知識を網羅的かつ体系的に 整理、全体像を可視化
- ▶ 活用部門を含む情報システムに携わる人材の 最適配置及び育成を実現

共通キャリア・スキルフレームワーク

情報処理

技術者試験



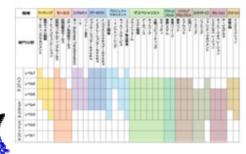


3スキル標準と情報処 理技術者試験が参照 すべき共通の枠組み

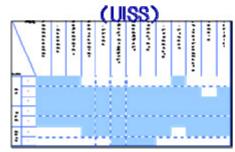


出典:IPA資料(一部改)

ITスキル標準 (ITSS)



情報システム ユーザースキル標準

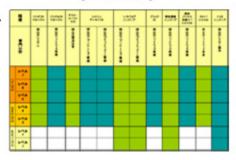








組込みスキル標準 (ETSS)

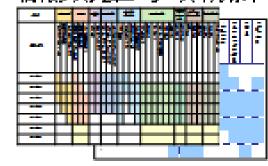


ITSS+(プラス)

Society 5.0の実現に向けて求められる 新たな領域の「学び直し」の指針 (2017年4月発表, 2018年4月内容追加)

従来の情報サービスの提供や 情報システム(IS)部門 に従事しているIT人材

> ITスキル標準、 情報システムユーザースキル標準



出典: https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/itssplus.html

IT投資の拡がりと特徴

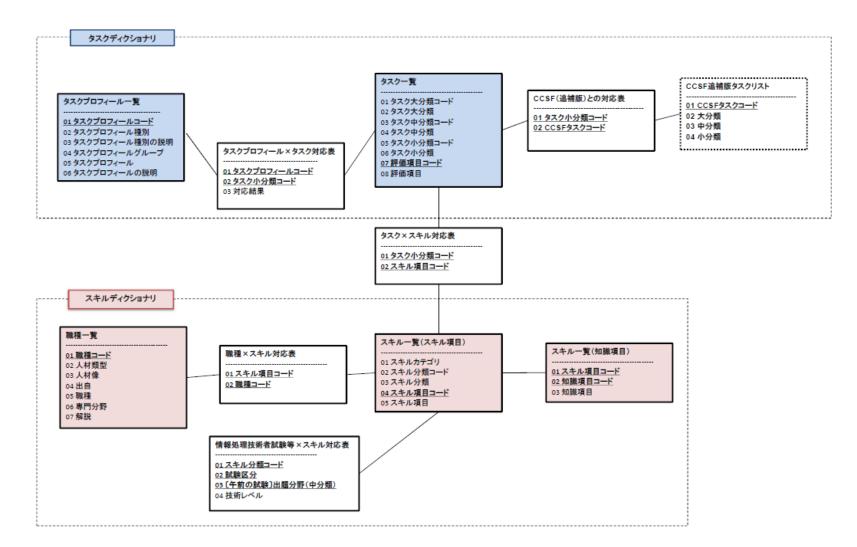
	新た	なIT投資					
	伝統的なIT投資						
目的	守りのIT投資 (コスト削減) (ビジネスを支援)	攻めのIT投資 (売上・付加価値向上) (ビジネスを実行)					
傾向	安定性重視	スピード重視					
対象領域	バックエンド SoR(Systems of Record)	フロントエンド SoE (Systems of Engagement)					
IT投資の形態	プロジェクト	プロダクト・サービス (価値提供)					
オーナー	情報システム部門	LOB(事業部門: Line of Business)					
開発手法	ウォーターフォール	アジャイル、DevOps等					
プラットフォーム への要求	信頼性・堅牢性	拡張性・柔軟性					
開発形態	ITベンダーへの外注が主体	ユーザー企業での内製や パートナリングによる開発が主体					
人材の役割	分業・専門分化	フルスタック・マルチロール					
開発運用体制	技術者とIS部門	技術者とIS部門+事業部門					
対象業務	予測可能	探索型					
データ	構造	構造+非構造+外部					
強み	統率力・実行力	機動力・柔軟性					

iコンピテンシディクショナリ(iCD)





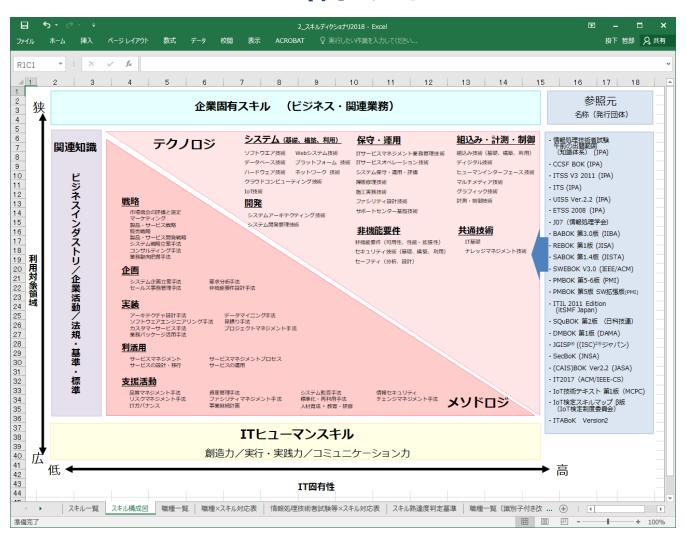
iCDの全体構成



項目	登録数
知識項目	10204
スキル項目	494
職種•専門分野	98
タスク	4566
タスクプロフィール	99

iCD2022

iCDのスキル構成図



iCDのスキル一覧

H 5 + € + ∓ **団 − □ ×** 2_スキルディクショナリ2018 - Excel ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校間 表示 ACROBAT ♀ 実行したい作業を入力してください.. 掛下 哲郎 2 共有 R27C8 ▼ : × ✓ f_x スキルカテゴリ スキル項目 スキル分類 スキルカテゴリ スキル分類 スキル項目 メンドロジ S110010 (戦略) 市場機会の評価と選定 S110010010 ビジネス環境分析手法 S110010020 ビジネス戦略と目標・評価 S110010030 業界動向把握の手法 S110010040 経営管理システム S110010050 経営戦略手法 S110010060 最新技術動向把握の手法 S110010070 市場調査手法 (戦略) マーケティング S110020010 ブランド・製品戦略手法 S110020020 マーケットコミュニケーション戦略手法 S110020030 マーケティングマネジメント手法 S110020040 マーケティング分析手法 S110030 (戦略) 製品・サービス戦略 S110030010 製品戦略手法 S110030020 サービス戦略手法 S110030030 ITSM戦略手法 S110030040 データセンタ戦略手法 S110040 (戦略) 販売戦略 S110040010 B2Bマーケティング戦略手法 18 S110040020 販売実行戦略手法 19 S110040030 販売チャネル戦略手法 20 (戦略) 製品・サービス開発戦略 S110050010 顧客環境分析手法 21 S110050020 製品開発戦略手法 22 23 S110050030 技術開発計画 S110050040 技術開発戦略の立案 (戦略) システム戦略立案手法 S110060010 システム化戦略手法 25 26 S110060020 システム活用促進・評価 S110060030 ソリューションビジネス S110060040 業務プロセス 28 S110060050 現行システムの調査・分析手法 29 S110060060 事業戦略の把握・分析の手法 30 S110060070 情報システム戦略 31 S110060080 戦略分析手法 32 33 (戦略) コンサルティング手法 S110070 S110070010 コンサルティング手法 (戦略) 業務動向把握手法 S110080010 業務動向の把握手法 S110080 S120010010 システム化計画 34 S120010 (企画) システム企画立案手法 S120010020 システム企画立案手法 S120010030 ソリューション提案手法 37 S120010040 技術問題解決手法 S120010050 調達計画・実施 (企画) セールス事務管理手法 S120020010 セールス交渉手法 S120020020 契約事務手法 スキル一覧 スキル構成図 | 職種一覧 | 職種×スキル対応表 | 情報処理技術者試験等×スキル対応表 | スキル熟達度判定 ... (+) : [4] 準備完了 # B P - + 100%

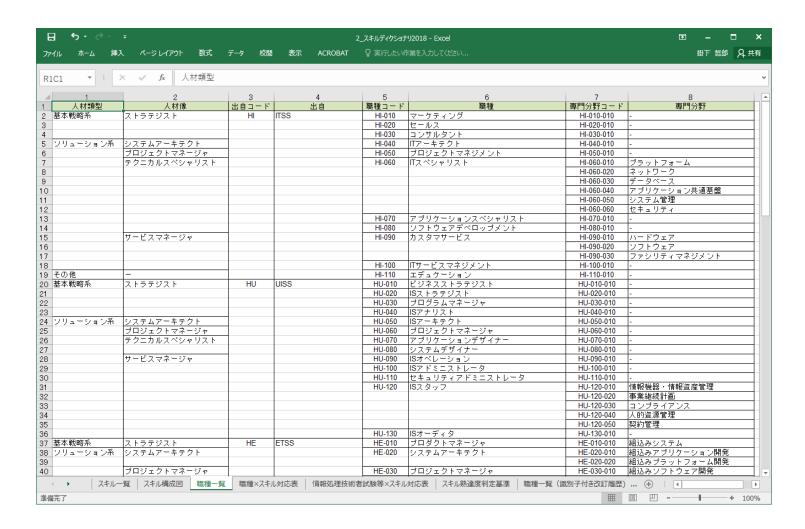
494項目

## 2	₩ *	D * C					2_スキルテ	イクショナリ2018 - E	xcel				- ·
1 2 3 4 5 12002003 経理事務手法 6 1	アイル	ホーム	挿入	ページ レイアウト	数式	データ 校覧	表示	ACROBAT	♀ 実行した!	い作業を入力し	てください	掛下 哲郎	A 共
S120020030 絵理事符手法 S12003000 表現のが指手法 S12003000 ファトフォーム要件定義手法 S12003000 ファトフォーム要件定義手法 S12003000 ファトフォーを設計手法 S13003000 ファトフォールを計手法 S13003000 ファトフォーキアクチ・総計手法 S13003000 ファトフォーキアクチ・総計手法 S13003000 ファトフォーチア・中キテクチ・総計手法 S13003000 ファトフェア・アーキテクチ・総計手法 S13003000 ファクェーキ・クチャーを計手法 S13003000 ファクェーアのモデリング手法 S13003000 ファクェーアが対す法 S13003000 ファクェーアが対する S13003000 ファクェーア設計で表法 S13003000 ファクェーア設計を表法 S13003000 ファクェーア設計を表法 S13003000 ファクェーア選手を表法 S13003000 ファクェーア選手を表法 S13003000 ファクェーア選手を表法 S13003000 文目のエーク・ファールを持法 S13003000 文目のエーク・ファールを表法 S13003000 ファクェーアス・ファース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファー	31C1	· :	×	√ f _x S	1								
S1200300 (企画) 要求分析手法 S120030010 要求の地址手法 S120030010 要求の整理手法 S120030010 要求の整理手法 S120030010 要求の整理手法 S120030010 要求の性格化手法 S120030010 医水の性格化手法 S120030010 医水の性格性手法 S120030010 医水の性格性手法 S120030010 医水の性格性手法 S120030010 医水の性格性手法 S120040010 S12004010 S120040010 S120040010 S120040010 S120040010 S12004010 S120040010 S120040010 S120040010 S120040010 S12004010 S120040010 S1		1		2	3			4		5		6	
S1200300 (企画) 要求分析手法 S120030010 要求の簡単手法 S120030020 要求の開催手法 S120030020 要求の関係事法 S120030020 要求の評価手法 S120030020 要求の評価手法 S120030020 要求の評価手法 S120040020 S2年次 S270040020 S27004020					1						経理事務手法		
S120030020 要求のを理手法 S120030030 要求の接触手法 S120030040 要求の接触手法 S120030040 要求の評価手法 S120030040 要求の評価手法 S120040010 S12004010 S12					S120030	(企画)	要求分析	手法					
S120030030 要求の代権化手法 S120030040 要求の評価手法 S12004000 S12004000 S120040000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S120040000000 S120040000000 S12004000000 S1200400000 S120040000000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S1200400000 S12004000000 S12004000000 S12004000000 S120040000000 S12004000000 S12004000000 S12004000000 S120040000000 S12004000000 S12004000000 S12004000000 S12004000000 S12004000000 S12004000000 S120040000000 S120040000000 S120040000000 S120040000000000000000000000000000000000						1	2.7.77	- /-					
S120030040 要求の評価手法 S120030050 要求の評価手法 S12004001 ブラットフォーム要件定義手法 S12004001 ブラットフォーム要件定義手法 S12004001 ブラットフォーム要件定義手法 S13001002 ファーキテクチャ設計手法 S13001002 アブリケーションアーキテクチャ設計手法 S130010020 アブリケーションアーキテクチャ設計手法 S130010020 アブリケーションアーキテクチャ設計手法 S130010020 アブリケーションアーキテクチャ設計手法 S130010020 アフリケーションアーキテクチャ設計手法 S13002001 ヤータアーキテクチャ設計手法 S130020001 ヤータアーキテクチャ設計手法 S130020001 ヤータアーキテクチャ設計手法 S130020001 ヤータアーキテクチャ設計手法 S130020001 ヤフトウェア可発手法 S130020001 ヤフトウェア開発手法 S130020000 ソフトウェア開発手法 S130020000 ソフトウェア開発手法 S130020000 ソフトウェア開発手法 S130020000 Yフトウェア設計手法 S130020000 Yフトウェア導入手法 S130020000 Yフトウェア導入手法 S13005001 YP・ウェア導入・ 配信手法 S13005001 YP・ウェア導入・ 医信告法 S13005001 YP・ウェア導入・ 医信告法 S13005001 YP・ウェア等入手法 S13005001 YP・ウェア手法 S13008002 YP・ウェア手法 S13008002 YP・カンド手法 S13008002 YP・フィア・ジメント S13008002 YP・フィア・ジメント S13008002 YP・フィア・ジメント S13008002 YP・フィア・ジメント S13008003 プロジェクトスマー・ジャント S130100050 プロジェクトスコー・フィンマキジメント S130100050 プロジェクトスコー・フィンマキジメント S130100050 プロジェクトスコー・フィンマキジメント S130100050 プロジェクトスコー・フィンマキジメント S130100050 プロジェクトスフィー・フィンマキジメント S130100070 プロジェクトスマー・フィンマキジメント S130100070 プロジェクトスマー・フィンマキジメント S130100070 プロジェクトスマー・フィンマキジメント S130100070 プロジェクトスマー・フィンマキジメント S130100070 プロジェクトスロー・フィンマ													
S120040													
S120040 (企画) 非機能要件設計手法 S120040010 ブラットフォーム要件定義手法 S13001001 ファーキテクチャ設計手法 S130010010 ファーキテクチャ設計手法 S130010010 ファーキテクチャ設計手法 S130010010 ファーキテクチャ設計手法 S130010030 ファリケーションアーキテクチャ設計手法 S130010030 スジタストリッケーションアーキテクチャ設計手法 S130010030 スジタストリッケーキカラチャ設計手法 S13002000 S13002000 S13002000 ファーキテクチャ設計手法 S13002000 ファーナアザイン手法 S13002000 ファーナアザイン手法 S13002000 ファーナアザイン手法 S13002000 ファーナアザイン手法 S13002000 ファーナアザイン手法 S13002000 ファーナアザイン手法 S13002000 ファーナアがイン手法 S13002000 ファーナアが上手法 S13002000 ファーナアが上手法 S13002000 ファーナアが上手法 S13002000 ファーナアが上手法 S13002000 ファーナー・フィーナー・コイン・フィーナー・フィー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィーナー・フィー・フィーナー・フィー・フィーナー・フィーナー・フィー・フィー・フィー・フィーナー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィーナー・フィーナー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィーナー・フィー・フィー													
S130010 (実装) アーキテクチャ酸計手法 S130010010 アーキテクチャ酸計手法 S130010010 アーキテクチャ酸計手法 S130010010 アーサーク・ションアーキテクチャ酸計手法 S130010030 アーカーク・ションアーキテクチャ酸計手法 S130010030 イングストリバッケージ酸計・開発手法 S130010050 データアーキテクチャ酸計手法 S130020010 セキュリティ実装手法 S130020010 ビャュリティ実装手法 S130020010 ビャュリティ実装手法 S130020010 フトウェアのモデリング手法 S130020030 ファトウェアのモデリング手法 S130020030 ファトウェアのモデリング手法 S130020030 ファトウェアのモデリング手法 S130020030 ファトウェア競作手法 S130020030 ファトウェア競作手法 S130020030 ファトウェア設計の表記手法 S130020030 ファトウェア設計の表記手法 S130020030 ファトウェア設計手法 S130020030 ファトウェア設計手法 S130020100 保守サービス提供手法 S130020100 保守サービス提供手法 S130020100 保守サービス提供手法 S130050010 アルテェア導入・配信手法 S130050010 アルティング手法 S130050010 アータマイニング手法 S130050010 アータンサージ連入手法 S130080010 データンサージ連入手法 S130080010 データンモデル手法 S130080010 アーストマイニング手法 S130080010 アーストマイング手法 S130080010 フェントトマネジメント S130100010 プロジェクトスコーフィネジメント S130100010 プロジェクトスコープマネジメント S130100010 プロジェクトスコープロジーグ S13010010 プロジェクトスコープロジーグ S13010010 プロジェクトスコープロジーグ S13010010 プロジェクトスコープロジーグ S13010010 プロジェクトスコープロジーグ S13010010 プロジェクトスコープロジーグ S13010010 S13010010 S13010010 S13010010 S13010010 S13010010					\$120040	(企画)	非機能要	件設計手法				#定義手法	
S13001001 (実装) アーキテクチャ設計手法 S130010010 アーキテクチャ設計手法 S130010010					0.200.0	(ILE)	71 IMARCS	1102013712					
St30010020					\$130010	(宝奘)	アーキテ	クチャ設計手法					
St30010030 インダストリバッケージ融計・開発手法 St30010040 インダストリバッケージ融計・開発手法 St30010040 インフラストラクチャアーキテクチャ設計手法 St30020010 オース・アー・オテクチャ設計手法 St30020010 オース・アー・アー・オース・アー					2.55510	120307		>					F 法
S130010040 インフラストラクチャアーキテクチャ設計手法 S130010050 データアーキテクチャ設計手法 S130020010 セキュリティ実践手法 S130020010 ファトラ・ア・設計手法 S130020010 ファトラ・ア・設計手法 S130020010 ファトウェアデザイン手法 S130020010 ファトウェアデザイン手法 S130020010 ファトウェアデザイン手法 S130020010 ファトウェアデザイン手法 S130020010 ファトウェア開発手法 ファトウェア開発手法 ファトウェア開発手法 ファトウェア開発手法 ファトウェア設計の表記手法 S130020010 S130000010													
S130010050													
S130020 (実装) ソフトウェアエンジニアリング手 S130020010 S130020010 S130020020 S130020020 S130020020 ソフトウェアデザイン手法 S130020050 ソフトウェア開発手法 S130020050 ソフトウェア開発手法 S130020050 ソフトウェア開発手法 S130020050 ソフトウェア開発手法 S130020050 ソフトウェア開発手法 S130020050 リフトウェア開発手法 S130020050 リフトウェア開発手法 S130020050 リフトウェア開発手法 S130020050 S130020050 S130020050 PT・アキア設計手法 S130020050 S130020050 PT・アキア設計手法 S130050010 S130050010 PT・アキア導入手法 S130050010 PT・アキア連升手法 S130050010 PT・アキア連升手法 S130050010 PT・アキア連升手法 S130050010 PT・アキア連升手法 S130050010 PT・アキア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・													KBI J /A
S130020020 ソフトウェアデザイン手法 S130020040 ソフトウェアのモデリング手法 S130020040 ソフトウェア開発手法 S130020040 ソフトウェア開発手法 ソフトウェア開発手法 ソフトウェア開発手法 S130020060 野菜プロセス酸定手法 S130020070 開発プロセス酸定手法 S130020070 開発プロセス酸定手法 S130020070 開発プロセス酸定手法 S130020070 開発プロセス酸定手法 S130020070 開発プロセス酸定手法 S130020070 開発環境計手法 ソフトウェア設計手法 ソフトウェア設計手法 ソフトウェア設計手法 S130050010 で守サービス提供手法 S130050010 S130050010 下・ビス提供手法 S130050010 下・ビス提供手法 S130050010 業務パッケージ導入手法 S130060010 業務パッケージ導入手法 S130060010 業務パッケージ導入手法 S130080010 実務パッケージ導入手法 S130080010 下・タマイニング手法 S130080010 ティストマイニング手法 S130080010 ティストマイニング手法 S130080010 フィニング手法 規模の見採手法 S130090010 フロジェクトマネジメント S130100000 プロジェクトステークホンドマネジメント S130100000 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100000 プロジェクトステークホルダマネジメート S130100000 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100000 プロジェクトステークネジメント S130100000 プロジェクトステークネジメント S130100000 プロジェクトステークネジメント S130100000 プロジェクトステークネジメント S130100000 プロジェクトステークネジメント S130100000 プロジェクトステーク S130100000 S1301000000 S130100000 S1301					\$130020	(宝装)	ソフトウ	- マナンバニマ					
S130020030					0130020	(96400)	////	±, ±,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
S130020040 ソフトウェア開発手法 S130020060 ソフトウェア関発手法 S130020060 ソフトウェア設計の表記手法 S130020070 開発プロセス設定手法 開発環境設計手法 S130020080 開発環境設計手法 S130020010 保守サービス最法 S130020100 保守サービス提供手法 S130020100 保守サービス提供手法 S130050010 保守サービス提供手法 S130050010 保守サービス提供手法 S130050010 S130050020 予防保守手法 S130050010 素務パッケージ海入手法 S130050010 素務パッケージ導入手法 S130050010 素務パッケージ導入手法 S130060010 素務パッケージ導入手法 S130080010 大田子法 S130080010 大田子子 S130080010 ブロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトコストマネジメント S1301000010 ブロジェクトコストマネジメント S1301000010 ブロジェクトコスープマネジメント S1301000010 ブロジェクトスコープマネジメント S1301000010 ブロジェクトスマークホルダマネジメント S1301000010 ブロジェクトスマークホルダマネジメント S1301000010 ブロジェクトスープマネジメント S1301000010 ブロジェクトスマーク・スーペーク・ス													
S130020050													
S130020060 ソフトウェア設計の表記手法 S130020070 S130020070 開発環境計手法 S130020070 開発環境計手法 ソフトウェア設計手法 S130020070 ア・ウェア設計手法 S130050010 ア・ヴェア導入・話信手法 S130050010 ア・ヴェア導入・配信手法 S130050010 ア・ヴェア導入・配信手法 S130050010 ア・ヴェア導入・配信手法 S130050010 ア・ヴェア導入・配信手法 S130050010 ア・ヴェア導入・配信手法 S130060010 ア・グラエア導入・配信手法 S130060010 ア・フェア導入・配信手法 S130060010 ア・フジ連升手法 S130060010 ア・フジ連升手法 S130060010 ア・フジ連升手法 S130080010 ア・フジ連升手法 S130080010 ア・フジ神入手法 S130080010 ア・フジ神入手法 S130080010 ア・フジボーチ法 ア・ストマイニングモデル手法 S130080010 ア・フジボーチ S130080010 フェストワイニング手法 S130080010 フェストワイニング手法 S130090010 フェストマイニング手法 フロジェクトマネジメント S130100010 フロジェクトスコトマネジメント S130100010 プロジェクトスコトマネジメント S130100010 プロジェクトスコープマネジメント S130100010 プロジェクトスコープマネジメント S1301000010 プロジェクトスコープマネジメント S130100010 S13010010 S													
S130020070													
S130020080													
S130020090 ソフトウェア設計手法 S130020010 S130020010 ドルチンドウェア導入手法 S130050010 ハードウェア導入手法 ソフトウェア導入・配信手法 S130050010 アドウェア導入・配信手法 ソフトウェア導入・配信手法 S130050020 ア防保守手法 S130060010 ア防保守手法 S130060010 ア防保守手法 S130060010 ア防保守手法 S130060010 アボル・フジ連升手法 S130080010 アデタマイニング手法 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 アデタンが非子法 S130080010 フェクトマイニング手法 S130080010 フェクトマイニング手法 S130080010 フェクトマイニング手法 フェクトマイニング手法 S130080010 フェクトマイニング手法 フェクトマイニング手法 フェクトマイニング手法 フェクトマイニング手法 フェクトマイニングテン フェクトマイングランド S130100010 フェクトフェクトフェーブマネジメント S130100010 フェクトステークホルダマネジメント S130100000 フェクトステークオースマネジメント S130100000												Α	
S130020100 保守サービス提供手法 S130020100 保守サービス提供手法 S1300500101 ハードウェア導入手法 S130050020 ファトウェア導入・配信手法 S130050020 ファトウェア導入・配信手法 S130050020 予防保守手法 S130060010 業務パッケージ適用手法 S130060010 業務パッケージ適入手法 S130080010 データマイニング手法 S130080010 データマイニング手法 S130080010 データングモデル手法 S130080020 デーストマイニング手法 S130080030 デーストマイニング手法 S130080030 ファナストマイニング手法 S130090020 ファナストマイニング手法 S130090020 ファナストマネジメント S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100000 ブロジェクトコストマネジメント S130100000 ブロジェクトコストマネジメント S130100000 ブロジェクトコープマネジメント S130100000 ブロジェクトスコープマネジメント S130100000 ブロジェクトスコープマネジメント S130100000 ブロジェクトスコープマネジメント S130100000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100000 ブロジェクトステークホルダマネジメント ブロジェクトステークホルダマネジメント ブロジェクトステークホルダマネジメント ブロジェクトステークホルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャルダマネジメント ブロジェクトスマージャンス・ア・ファージ ファンス・ア・ファージ ファンス			_			_						Ł	
S130050 (実装) カスタマーサービス手法 S130050010 S130050020 S130050020 S130050020 S130050020 SDK保守手法 S130050030 SDK保守手法 S130060010 SDK保守手法 S130060010 STM アージ海入手法 S130060010 STM アージ海入手法 S130080020 STM アージ海入手法 S130080020 STM アージ海入手法 S130080020 S130080020 STM P ST													
S130050020					C1200E0	(#3±)	+ > A →	ニサニビュチ注					
S130050030 予防保守手法 S130050030 予防保守手法 S130060010 業務パッケージ適用手法 S130060010 業務パッケージ適用手法 S130060020 業務パッケージ適用手法 S130080010 業務パッケージ適用手法 S130080010 データ分析手法 S130080010 データ分析手法 S130080010 ブータ分析手法 S130080010 規模の見積手法 S130080010 規模の見積手法 S130090010 規模の見積手法 S130090010 ブロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトコストマネジメント S130100004 ブロジェクトコストマネジメント S130100004 ブロジェクトコーブマネジメント S130100005 ブロジェクトスコーブマネジメント S130100005 ブロジェクトスコーブマネジメント S130100007 ブロジェクトスーーブネンダマネジメント S130100007 ブロジェクトスーーブネンダマネジメント S130100007 ブロジェクトスーーブネンダマネジメント S130100007 ブロジェクトタイムマネジメント ブロジャイムマネグストタイムマネジストタイムマネジストタイムマネジストタイムマネグストタイムマネジストタイムマネジストタイムマネグストタイムマ					3130030	(天衣/	カスタマ	- ソーレスチル					
S130060 (実装) 業務パッケージ活用手法 S130060010 業務パッケージ適用手法 S130060010 業務パッケージ適用手法 S130080010 業務パッケージ適入手法 S130080010 データウ析手法 S130080010 データウ析手法 S130080020 マイニングモデル手法 S130080020 テーストマイニング手法 S130080020 テーストマイニング手法 S130090020 フロジェクトマネジメント S130090020 フロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100040 ブロジェクトスコーブマネジメント S130100040 ブロジェクトスコーブマネジメント S130100060 ブロジェクトスコーブマネジメント S130100060 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100060 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100060 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100060 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100060 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 ブロジェクトステークホルダマネジメント ブロジェクトタイムマネジメント ブロジェクトタイムマネジメント ブロジェクトタイムマネジメント ブロジェクトタイムマネジメント S130100060 ブロジェクトタイムマネジメント S130100060 ブロジェクトタイムマネジメント S130100600 ブロジェクトタイムマネジメント S130100600 ブロジェクトタイムマネジメント S130100600 ブロジェクトタイムマネジメント S130100600 ブロジェクトタイムマネジメント S130100600 ブロジェクトタイムマネジメント S130100600 S130100600 S130100600 S130100600 S130106000 S1301060000 S130106000 S1301060												温力広	
S130060020 業務パッケージ導入手法 S130060020 業務パッケージ導入手法 S130080010 データ分析手法 S130080020 マイニングモデル手法 S130080020 マイニングモデル手法 S130080020 マイニングモデル手法 S130080020 フィーングモデル手法 フィングモデル手法 フィングモデル手法 フィングモデル手法 フィングモデルチ法 フィングモデルチ法 フィングモデルチ法 フィングモデルチ法 フィングモデルチ法 フィングモデルチング・ストングモデング・ストングーング・ストングーング・ストングーング・ストングーング・ストングーング・ストングーング・ストント S130100020 プロジェクトストンマネジメント S130100050 プロジェクトステークホルダマネジメント S1301000060 プロジェクトステークホルダマネジメント S1301000060 プロジェクトステークホルダマネジメント S1301000070 プロジェクトステークホルダマネジメント S1301000070 プロジェクトステークホルダマネジメント S1301000070 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトステークオーンダースネジメント S130100070 プロジェクトステークオーンマネジメント S130100070 プロジェクトステークオーンマネジメント S130100070 プロジェクトステークオーンマネジメント S130100070 プロジェクトステークオーンマネジメント S130100070 プロジェクトステークオーンマネジメント S130100070 プロジェクトステークオーングーングーングーングーングーングーングーングーングーングーングーングーングー					0420000	/st=31±1	₩ 25 . ?	長、小松本田本社				C 2+	
S130080 (実装) データマイニング手法 S130080010 データ分析手法 S130080020 マイニングモデル手法 S130080020 マイニングモデル手法 S130080020 マイニング手法 S130080020 規模の見様手法 S130090020 規模の見様手法 S130090020 ストの見積り手法 S130100020 プロジェクトマネジメント S130100020 プロジェクトマネジメント S130100020 プロジェクトマネジメント S130100020 プロジェクトコストマネジメント S130100040 プロジェクトコストマネジメント S130100040 プロジェクトコニュニケーションマネジメント S130100060 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100060 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトタイムマネジメント S130100070 S13					3130000	(夫教/	未扱ハツ	ケーン酒用手広					
S130080020 マイニングモデル手法 S130080030 マイニングモデル手法 S130080030 マイニングモデル手法 S13009001 現模の見積手法 S130090020 フェストの見積り手法 S130090020 フェストの見積り手法 S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100000 ブロジェクトマネジメント S130100000 ブロジェクトスコマネジメント S130100040 ブロジェクトスコープマネジメント S130100060 ブロジェクトスコープマネジメント S130100060 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100007 ブロジェクトタイムマネジメント S130100007 S130100007 S13010007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S1301000007 S130100007 S130100007 S130100007 S130100007 S1301000007 S130100007 S1301000007 S1301000007 S1301000007 S1301000007 S1301000007 S1301000007 S1301000007 S13010					0420000	/==3±\	-". h-	/:##:#				*/IX	
S130080030 テキストマイニング手法 S130080030 テキストマイニング手法 S130080030 フキストマイニング手法 S130080020 コストの見積り手法 S130090020 コストの見積り手法 S130100010 ブロジェクトマネジメント S130100020 ブロジェクトスマネジメント S130100020 ブロジェクトスコストマネジメント S130100004 ブロジェクトスコストマネジメント S130100005 ブロジェクトスコーブマネジメント S130100005 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100006 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100007 ブロジェクトタイムマネジメント S1301000007 ブロジェクトタイムマネジメント S130100007 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000007 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S130100000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S13010000000 ブロジェクトステークホルダマネジメント S1301000000 T1000000 T10000000 T1000000 T1000000 T100000000 T10000000 T10000000 T10000000 T10000000 T1000000000 T100000000 T10000000000					5130080	(夫板)	ナータイ	1二ノンチ法				±	
S130090 (実装) 見積り手法 S13009010 規模の見積手法 S13009010 規模の見積手法 S13009010 コストの見積り手法 S130100010 コストの見積り手法 S130100010 プロジェクトマネジメント S130100020 プロジェクトストマネジメント S130100000 プロジェクトコストマネジメント S130100000 プロジェクトコストマネジメント S130100000 プロジェクトコープマネジメント S130100000 プロジェクトスープマネジメント S130100000 プロジェクトスープマネジメント S130100000 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトタイムマネジメント プロジェクトタイムマネジメント プロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトマネジメント S130100070 Julium						-							
S130090020 コストの見積り手法 S130090020 コストの見積り手法 S130100010 プロジェクトマネジメント S130100010 プロジェクトマネジメント S130100000 プロジェクト統合マネジメント S130100000 プロジェクトコストマネジメント S130100000 プロジェクトコニュニケーションマネジメント S130100000 プロジェクトスロープマネジメント S130100000 プロジェクトスロープマネジメント S130100000 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100007 プロジェクトタイムマネジメント S130100007 プロジェクトタイムマネジメント S130100007 プロジェクトタイムマネジメント S130100007 プロジェクトタイムマネジメント S130100007 プロジェクトタイムマネジメント S130100007 S13010007 S130100007 S13010007 S13010007 S13010007 S13010007 S13010007 S130100007 S130100007					C120000	/±x±\	目往ロエ	±				-/IA	
S130100 (実装) プロジェクトマネジメント手法 S130100010 プロジェクトマネジメント S130100020 プロジェクトマネジメント S130100020 プロジェクトストマネジメント S130100030 プロジェクトコトマネジメント S130100040 プロジェクトコミュニケーションマネジメント S130100060 プロジェクトスコープマネジメント S130100070 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトタイムマネジメント S130100070 プロジェクトマイムマネジメント S130100070 プロジェクトマインマント S130100070 プロジェクトマインマント S130100070 プロジェクトマネジメント S130100070 プロジェクトコーロマネジメント S130100070 プロジェクトコーロマネジメント S130100070 July エクトコーロマネジメント S130100070 July エクトコーロマネジタント S130100070 July エクトコーロマネンロマネンロマネンロマネンロマネンロマネンロマネンロマネンロマネンロマネン					5130090	(美装)	元憤り于:	瓜					
S130100020 プロジェクト統合マネジメント S130100030 プロジェクトコストマネジメント S130100040 プロジェクトコミュニケーションマネジメント S130100060 プロジェクトスコープマネジメント S130100060 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 Jロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 Jロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 Jロジェクトコストマネジメント S130100070 Jロジェクトコストマネジメント S130100070 Jロジェクトコストコストマネジメント S1301000070 Jロジェクトコストコストコストコストコストコストコストコストコストコストコストコストコスト			-		0120100	/±3±1	-1 □ 2 ¥	カレーウンソファ				12.1	
S130100030 プロジェクトコストマネジメント S130100040 プロジェクトコストマネジメント S130100040 プロジェクトコミュニケーションマネジメント S130100060 プロジェクトスコークネルダマネジメント S130100070 プロジェクトステークネルダマネジメント S130100070 プロジェクトタイムマネジメント S130100070 Jロジェクトライムマネジメント S130100070 Jロジェクトコストマネジメント S130100040 Jロジェクトコストマネジメント S130100040 Jロジェクトコストマネジメント S130100040 Jロジェクトコストマネジメント S130100040 Jロジェクトコストマネジメント S130100040 Jロジェクトコミュニケーションマネジメント S1301000040 Jロジェクトコミュニケーションマネジメント S1301000040 Jロジェクトコミュニケーションマネジメント S1301000040 Jロジェクトコミュニケーションマネジメント S1301000040 Jロジェクトコミュニケーションマネジメント S1301000040 Jロジェクトコミュークネジメント S1301000040 Jロジェクトコラークネンタント S1301000040 Jロジェクトコラークネンタント S1301000040 Jロジェクトコラークネンタント S1301000040 Jロジェクトコラークネンタント S1301000040 Jロジェクトコラークネンタント S1301000070 Jロジェクトコラークネンタント S1301000070 Jロジェクトコークネンタント S1301000070 Jロジェクトコークネンタント S1301000070 Jロジェクトコークネンタークネンタント S130100070 Jロジェクトコークネンタークネンタークネンタークネンタークネンタークネンタークネンタークネンタ			-		5130100	(美装)	ノロンエ	ントマチンメン					
S130100040 プロジェクトコミュニケーションマネジメン S130100060 プロジェクトスコープマネジメント S130100060 プロジェクトステークホルダマネジメント S130100070 プロジェクトタイムマネジメント			-			-							
\$130100050 プロジェクトスコープマネジメント	-		-			-							7.7.5.1
\$130100060 プロジェクトステークホルダマネジメント \$130100070 プロジェクトタイムマネジメント			-			-							/メント
S130100070 プロジェクトタイムマネジメント	-		-		-	-							
			-		-	-							7.
			_			-							
			_1								フロジェクトリスクマ	アイジメント	
スキルー覧 スキル構成図 職種一覧 職種×スキル対応表 情報処理技術者試験等×スキル対応表 スキル熟達度判定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	()	スキ	ル一覧	スキル構成図	職種一覧	職種×スキ	ル対応表	情報処理技術者	試験等×スキ	ドル対応表	スキル熟達度判定 (⊕ : ◀	Þ

iCDにおける知識とスキルの対応

♥ ↑ ♂ ↑ √ ホ−ム ‡	▼	数式 デ-	-タ 校閲 表示	ACROBAT (? 実行したい作業を入力し	2_スキルディクショナリ2018 - E てください	ccel	国 - ロ 数下 哲郎 24.
2C6 + :	× ✓ f _x 組	Z営戦略手法						
1	2	3		4	5	6	7	8
スキルカテゴリ		スキル分類	7	キル分類	スキル項目	スキル項目	知識項目	
<u>コード</u> S1	メンドロジ	S110010	(戦略) 市場機会] - F	ビジネス環境分析手法	コード K001	ニーズ&ウォンツの把握
51	X 7 F U 9	5110010	【乳曜】 田場機	云切計1曲と選走	5110010010	E ソイス環境方折手法	K001	ニース&ワォブリの1818 ニーズの分析と優先順位付け
								マーケティング環境分析
								マーケティング戦略の長所と短所
								マーケチャンク教師の表別と短別
		1						コーザニーズの把握
							K007	価格感受性
							K008	概念
								環境要因の分析
								技術的環境
								競合の戦略の分析
								経済環境
								現状課題の調査と分析
								顧客に対するポジショニング分析と設定
								顧客要望
								購買決定プロセスの理解
								購買決定者
							K018	講賞行動に影響を与える要因の理解(文化的要因、社会的要因、個人的要因、心理的要因)
							K019	購買行動の理解
								購買人口
								差別化の検討
							K022	最適化ルーチン(微分法、数理計画法、統計的決定理論、ゲーム理論等)
								財務分析
								参入障壁の分析
								市場セグメントの選択
							K026	市場セグメントの評価
								市場と市場セグメントの理解と設定
							K028	市場の機会と脅威の発見
								市場規模
								市場細分化(地理的変数、人口動態変動、心理的変数、行動上の変数等)
								市場調査と市場需要の測定
								自社の強み分析
								自社内のポジショニング分析と設定
								社会情勢
							K035	需要の弾力性
								需要曲線の見積もり
								人口動態環境
								人的資源分析
								政治
→ ス キ ル	l レ一覧 スキル構成図	職種一覧	職種×スキル対応表	情報処理技術者記	 『験等×スキル対応表	スキル熟達度判定基準 職種一覧(調		
23.17							,	

職種一覧



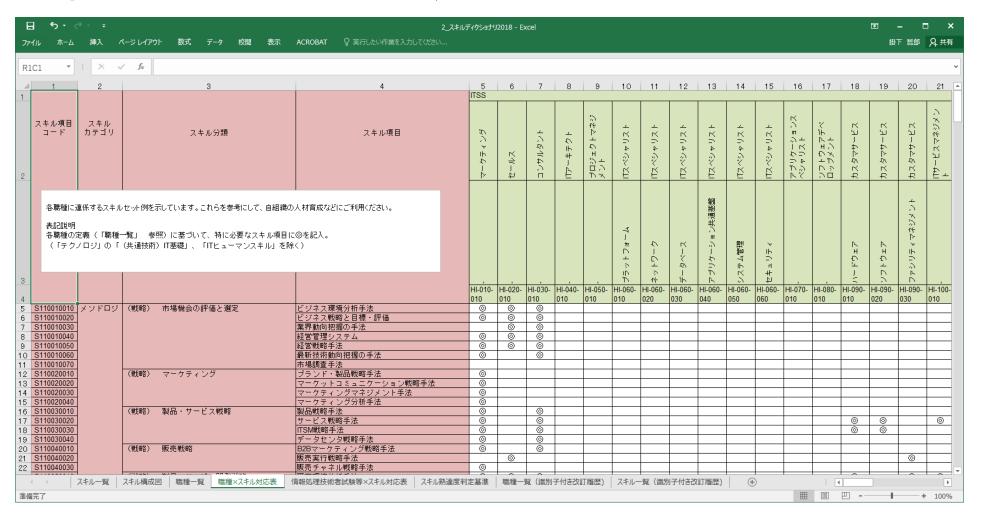
スペースの都合により、職種・ 専門分野ごとの解説は省略

例:マーケティングの解説

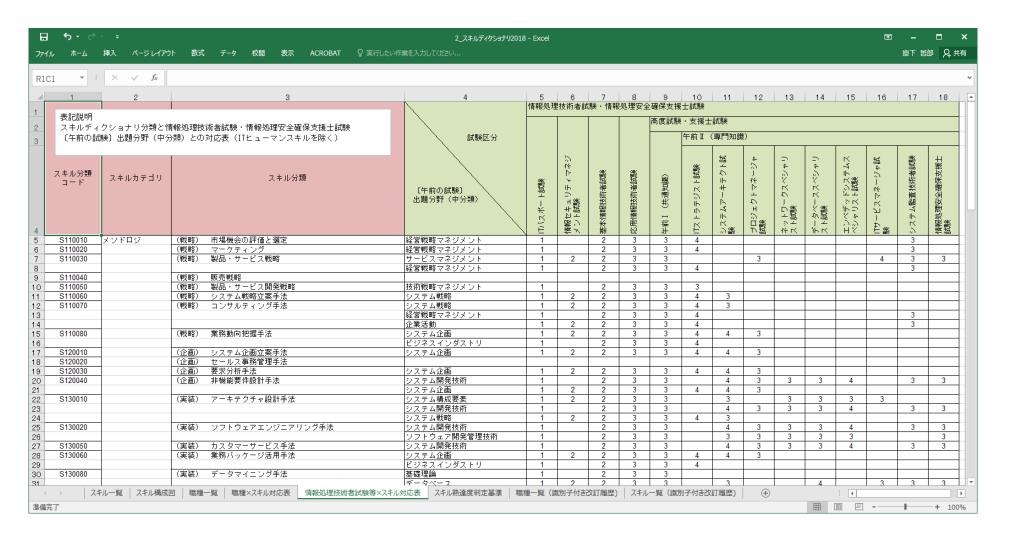
顧客ニーズに対応するために、企業、 事業、製品およびサービスの市場の 動向を予測かつ分析し、事業戦略、 販売戦略、実行計画、資金計画およ び販売チャネル戦略等ビジネス戦略 の企画および立案を実施する。市場 分析等を通じて立案したビジネス戦 略の投資効果、新規性、顧客満足度 に責任を持つ。

98職種•専門分野

職種×スキル対応表



情報処理技術者試験等×スキル対応表



スキル熟達度判定基準

E	5 - 6	÷ - =					2_スキルディクショナリ2018 -	Excel			団 − □ ×				
77.	イル ホーム	挿入	ページ レイアウト 数式	データ 校閲	表示	ACROBAT	♀ 実行したい作業を入力してくだ				掛下哲郎 24 共有				
R1	C1 *	: ×	✓ & スキル敦	達度判定基準							,				
4	1	2		3				4	数式バー	5	[
1	スキル熟ま	主度判:													
2	レベノ	し5から	レベル7は、スキカ	テゴリを横断した	基準を定	養づけて	いる。			iスキルの業務遂行上の最大習得レイ iするようを定義している。	ベルとなる。				
3															
4	ν'	ベル 7					業界をリードし市場への)影響力があるレ	バルにある						
5	レ	ベル6		業界に貢献し認知されるレベルにある											
6	レ	ベル 5					所属団体・組織内で貢献	状し認知されるレ	バルにある						
7	レ	*バ 4	非機能要件を考慮し /定石外しができる				最適な手法を使いこなす 手法を状況に応し			関与する業種・業務の上級管理者 ついて議論でき					
8	ν'	7)L3	機能要件が作成でき	きる/自立してあ ができる	る限定条	件で仕事		分けができる/: を導いた事があ		関与する業種・業務のIT領域の課題 提案した事があ					
9	ν'	ブル 2	指示があると使え	る、活用できる/	/実装経駅	剣がある	当該手法で分析できる/	メソドロジを指導	導下で使える	関与する業種・業務のIT領域の課	題点を知っている				
10	ν'	ベル 1	技術内容について記	構義などを受講し がある	知ってい	る/知識	手法内容について講義な なものか知っている、言			関与する業種・業務がどんなもの; る/有報などの公開情報で					
11		テゴリ		テクノロジ			ХY	ノドロジ		関連知識					
10	+ 5	スキル一覧	スキル構成図 職種	一覧 職種×スキル	対応表	情報処理技術	版者試験等×スキル対応表 スキ	小熟達度判定基準	職種一覧(識別	引子付き改訂履歴) スキル (+) :	1				
準備	完了										+ 100%				